

番号 (都道府県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種類	CLTの主な使用方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	株式会社 茶玻璃 代表取締役 川本 栄次	有限会社E.P.A環境 変換装置建築 研究所 代表取締役 武 松幸治	H-PROJECT	建築、性能	構造体、 床	本計画は、CLTと集成材を使用したボックス型スラブを採用し、ロングスパン(約9m)の可能性・工期短縮・意匠性を実証する。部材の性能実証は耐力、剛性の評価検討の実験を行う。協議会では接合部の納まり等を議論、汎用性、低コスト性を検討、建築費は、同規模のRC造建物と比較し、CLTの使用メリット、コスト削減に寄与する工事内容について検証する。	他工法での類似の用途・規模の建築物の施工実績が豊富であり、本事業で実証するCLTを用いた建築物とRC造で建築した場合について、総コスト、工期等、仕上げ等を比較するとともに、本事業における材料調達、施工工程・手法等の課題を分析することが可能である。また、他工法と遜色のない価格の実現のために、工期短縮、CLTを現しで使用するにより、内装工事の軽減をすることで解決が可能と考えている。	愛媛県松山市	用途: 飲食・事務所・ギャラリー・物販販売の複合施設 構造: 木造軸組工法+一部CLT 階数: 2階建て 延べ面積: 800.79㎡ 工事種別: 新築 竣工予定: 令和3年5月	有限会社E.P.A環境 変換装置建築 研究所 代表取締役 武 松幸治